

[昭和建設株式会社]

Environment-Report 2021

[環境経営活動レポート:令和3年度分]

〈令和3年2月1日~令和4年1月31日迄分〉

エコアクション21 建設業者向けガイドライン 2017年度版準拠
(2018年9月:環境省)



2022/4/21

経営理念

1. 我々は創意・工夫・熱意で紡いだ技術を提供します。
2. 我々は期待を超える革新的な品質と価値を提供します。
3. 我々は地域社会の一員として安心・信頼を創造します。

社名：昭和建設株式会社

英文社名：Syowa Kensetsu Co.Ltd.

設立：1949年（昭和24年）2月

所在地：本社 〒933-0057

富山県高岡市広小路6番1号

東京支店 〒179-0076

東京都練馬区土支田町2丁目18番20号

射水支店 〒939-0341

富山県射水市三ヶ1418

試験センター 〒939-0255

富山県射水市上条333

代表者：代表取締役 開 章夫

環境管理責任者及び連絡先：森谷 賢一

[本社]TEL 0766-24-2561

[本社]FAX 0766-24-2564

事業の概要：舗装工事及び土木構造物の施工

国土交通大臣登録 一般特定 3第827号

土木工事、舗装工事、建築工事、蔦土工工事、
鋼構造物工事、浚渫工事、水道施設工事、
外構工事

事業の規模：資本金 4,914万円

社員数 52名

売上高 約20億43百万円（令和3年度）

ホームページ：<http://www.syowa-kensetsu.com/>

当社は昭和24年、富山県射水市（旧射水郡小杉町）に設立。その後、富山県高岡市に本社を移転し、富山県の高岡市・射水市を中心に土木工事及び道路舗装会社として73年、地域と共に歩んでまいりました。

社会情勢の大きな変化やCOVID-19の感染は以前にも増して拡大し、食料やエネルギー・工業製品の原材料が不足し、価格高騰により様々な影響がでています。建設業でもセメントの価格上昇、アルミ製品など輸入製品による製造コストの上昇から様々な材料の値上げが予想されます。

建設業界は変化が大きく厳しさは増しておりますが、人々が生活するためにインフラは欠かせないのであり、我々は地域社会の一員として企業の社会的責任を果たしていくために、努力してまいります。

我々は、長年培った技術を元に、若い人材と一緒に創意工夫・熱意を持って、より良い環境のために知識と技術を提供し、地域社会の発展に貢献していきけるようにします。

アスファルト舗装工事は我が社の主力であり、これからも地域の人たちの生活や物流になくてはならないものです。一般土木工事は災害が多発する自然環境の中で安全な生活のため、建築事業は人々の快適な生活のために必要なものです。

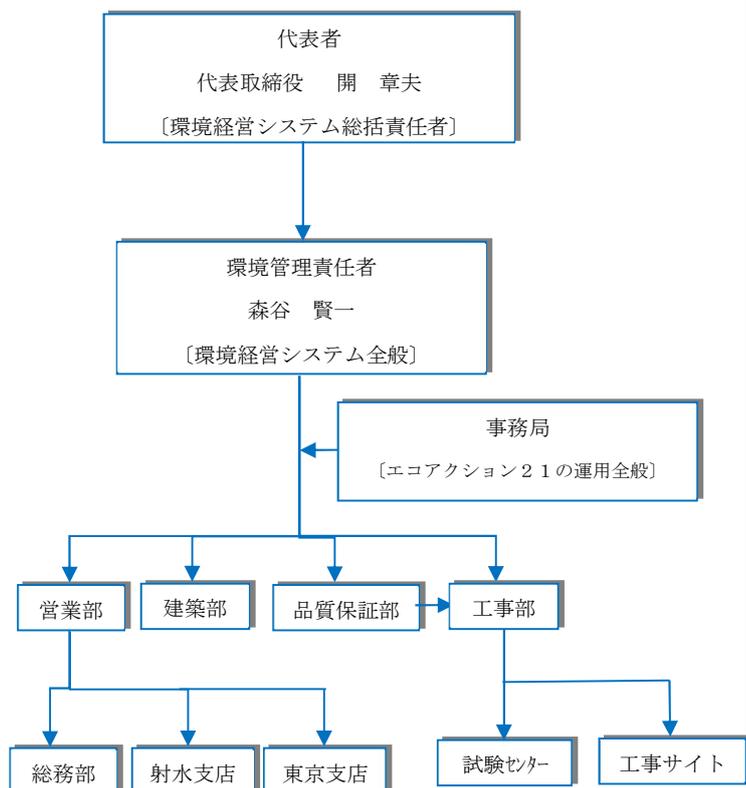
施工現場においては、ドローンやIT技術の導入により、安全で正確な施工を目指し、現場管理業務や事務作業においてはペーパーレス化RPA（Robotic Process Automation）の導入により、効率化を図ります。

安全で快適な職場環境をつくり、仕事と生活の両立ができるよう努め、より安全でより良いものを提供できるよう努めてまいります。今後ともより一層のご愛顧、ご支援を賜りますよう、よろしく願い申し上げます。

エコアクション21への取組

- 2006.9.27 とやま環境財団の自治体イニシアティブへ参加
- 2007.10.19 エコアクション21認証・登録(ガイドライン2004年版)
- 2009.10 エコアクション21更新(2年毎)
登録範囲を拡大(射水支店を対象へ)
- 2010.3.12 とやま環境財団主催、「エコアクション21事業者交流会」にて、事例発表。
- 2010.9.27 中間審査にて「建設業者向けガイドライン(建設業者向けマニュアル試行版)へ移行
- 2011.10.19 エコアクション21更新(ガイドライン2009年版移行)
- 2012.10.3 中間審査にて「建設業者向けガイドライン2011年版(暫定版)へ移行
- 2013.10 エコアクション21更新登録
- 2014.10.8 中間審査にて、「建設業者向けガイドライン2009年版」へ移行。並びに、登録範囲へ東京支店を拡大し、全組織にて認証・登録となる。
- 2015.10 エコアクション21更新(2年毎)
- 2017.8.25 エコアクション21中央事務局より継続10年表彰
- 2017.10.19 エコアクション21更新(2年毎)
- 2018.10.30 エコアクション21中間審査
- 2019.10.19 エコアクション21更新(2年毎)
- 2020.10.13 エコアクション21中間審査
- 2021.8.11 エコアクション21更新審査

E A21 実施体制



CONTENTS

- 組織の概要・・・・・・・・・・・・・ 1
- エコアクション21への取組み、
実施体制・・・・・・・・・・・・・ 2
- 環境経営方針・・・・・・・・・・・・・ 3
- 環境経営目標・・・・・・・・・・・・・ 3
- 環境経営活動計画・・・・・・・・・・・・・ 4
- 環境経営目標の実績・・・・・・・・・・・・・ 4
- 環境経営活動計画の取組結果とその
評価、次年度の取組内容・・・・・・・・・・・・・ 6
- 環境関連法規等の遵守状況の確認
及び評価の結果並びに違反、訴訟
等の有無・・・・・・・・・・・・・ 7
- 代表者による全体評価と
見直しの結果・・・・・・・・・・・・・ 7

対象範囲と対象期間

対象範囲：全社。

富山本社、東京支店
射水支店、試験センター

対象期間：2021年度(令和3年度)
(2021.2.1~2022.1.31)

※当社の決算月に合わせてあります。

環境経営方針

I. 基本理念

社会情勢によって働き方が変わる中で、新型コロナウイルスの感染は以前にも増して拡大し、薬の開発が進んでいるものの、以前と同じ生活様式にはなかなか戻らない状況です。

遠くロシアとウクライナの戦争は、食料やエネルギー・工業製品の原材料が不足し、値段が高騰し我々の生活や環境に大きく影響を与えています。

建設業においても、今後セメントの価格上昇やアルミ製品など輸入製品による製造コストの上昇から様々な材料の値上がりが予想されます。このような状況は巡り巡って環境に多大な影響を及ぼすことは必至です。

一方、我々建設業の仕事は、地域の人たちが安心・安全な生活を送れるように道路を整備し、水路を造り、災害が起きたとしても被害を少なくできる街にすることです。

舗装工事・土木工事及び建築工事等を通じて、企業活動と持続可能で環境にやさしい社会の実現に貢献するため環境マネジメントシステムを運用していきます。

II. 行動指針

1. 建設機械等から排出する二酸化炭素を、排ガス浄化装置や省エネ運転等を通じて排出量の削減に努めます。
2. 電気使用量を削減し、二酸化炭素排出量の削減に努めます。
3. 産業廃棄物は法律を遵守し、分別・リサイクルを推進し、廃棄物の適正処理及び再資源化率の向上に努めます。
4. コピー用紙使用量の削減に努め、一般廃棄物の削減に貢献します。
5. 節水活動を通じて、水使用量の削減を推進します。
6. 建設現場にて、周辺環境を配慮した、工法・施工を実施します。
7. 環境に配慮した建設資材等の購入の促進に努めます。
 - ・当社に適用される環境関連法規を遵守し、最新の法規改正に留意し、環境保全に努めます。
 - ・地域の環境貢献活動への参加を推進していきます。

上述の環境方針に沿って事業活動を行い、環境意識を高める為、全社員に周知徹底し、環境への配慮を継続的に行っていきます。

なお、この方針は一般人にも公表します。

改定年月日：令和 4 年 4 月 1 日

昭和建設株式会社

代表取締役

開 章 夫

環境経営目標

当社の環境負荷軽減のための環境経営目標は3年の中期目標とします。

- ・CO₂排出量削減は、毎年前年比2%削減目標。
- ・廃棄物排出量削減として、コピー用紙の購入量を毎年前年比2%削減。
産業廃棄物のリサイクル推進として、再資源化率99%以上を目標としています。
- ・総排水量削減としては、毎年度前年の使用量以下に抑える目標としています。
- ・化学物質使用量の削減としては、当社はPRTR法対象物質を取り扱わないので、目標は設定していません。
- ・グリーン購入として、事務用品は環境に配慮した物品の購入比を98%以上とします。
- ・当社が施工する工事に関する環境配慮としては、再生資材の使用の推進(再生アスファルト混合物、再生砕石、等々)、顧客に環境配慮型商品等の情報提供、環境に配慮した再使用・再生しやすい建設資材の促進を行います。
- ・地域の環境貢献活動への参加を推進していきます。

項目	中長期目標（3年間）		
	平成31年度	令和2年度	令和3年度
CO ₂	前年比-2%	前年比-2%	前年比-2%
総排出量削減	320673kg以下	314512kg以下	293462kg以下
廃棄物 排出量 削減	コピー用紙 472kg以下	前年比-2% 552kg以下	前年比-2% 389kg以下
	産廃削減	リサイクルを推進し、再資源化率99%以上を目標	
水使用量削減	前年量以下 581m ³ 以下	前年量以下 731m ³ 以下	前年量以下 760m ³ 以下
化学物質の削減	-（当社は使用しないので対象外）		
グリーン購入 (事務用品)	98%以上	98%以上	98%以上
工事の環境配慮	再生資材の使用の推進 顧客に環境配慮製品の情報提供 環境配慮建設資材の促進		

環境経営目標達成のための主要な活動計画は下記の通りです。

・CO₂排出量削減

電気使用量削減として、COVID-19 感染拡大対策の換気しながら冷暖房の適正温度の設定、こまめな照明の消灯、待機電力の削減。

ガソリン、軽油、灯油、LPGの使用量削減として、エコドライブ、ストーブの適温設定、低燃費車への入替、ムダ使いの削減。品質目標の手戻り工事「0」を目指し、やり直しなどの本来なら必要のない工事によるムダな環境負荷を抑制する。

・廃棄物削減

一般廃棄物削減として、コピー用紙の購入量削減のため、裏紙使用、ミスプリントの削減、両面コピーの推進、書類の電子化。

産業廃棄物は、法を順守し、分別し、リサイクルを推進し、再生資源化施設へ搬入します。

・総排水量削減

総排水量削減として、水道使用量削減のため、こまめな水道蛇口を締める、水洗トイレの入替時に節水タイプを優先入替。

・化学物質使用量の削減

当社は化学物質の取扱いはありません。

・グリーン購入

グリーン購入は、事務用品の環境配慮物品購入を優先します。

・当社が施工する工事に関する環境配慮

建設資材は、再生アスファルト混合物や再生砕石等、仮設資材もリサイクル製品や再使用できるものは優勢的に再使用する。

・環境関連法規の遵守

法規の遵守のチェックは勿論、排ガス・騒音・振動対策型建設機械等の使用により、周辺環境へ配慮した工法・施工を実施する。

・地域の環境貢献活動への参加

環境美化等の環境貢献活動へ参加します。

当社の環境経営目標は、3ヶ年の中期目標を掲げており、今年度（令和3年度）は中期目標3年目になり、実績は次の通りです。

- ・CO₂総排出量 前年比 7.37%削減(19,573kg 削減)
- ・コピー用紙購入量 前年比 21.04%削減(約 166kg 削減)
- ・産廃排出量削減（適正処理） 適正処理 100%
再資源化率 99.89%（令和3年度報告分）
- ・水使用量削減（上下水道） 前年比 57.74%減(416m³ 減)
- ・グリーン購入(事務用品) 環境配慮製品購入比 100%

今年度の達成状況を見ると、会社全体のCO₂総排出量は、前年度比 7.37%削減となり、目標の前年比 2%削減を達成できた。要因として電力・灯油の増加があったが、軽油の大幅削減、ガソリン・LPGの削減が全体のCO₂総排出量削減目標達成の要因となった。

項目	令和2年度	令和3年度(2021年度)	
	基準年	目標値	実績値
		量	量
		CO ₂	CO ₂
		前年比・実績増減	達成率
CO ₂ 総排出量 (kg)	299,451	293,462 以下	277,391
【目標：前年比 2%削減】	—	7.37%減 19,573kg 減	105.26%
購入電力			
使用量(kWh)	61,248	60,023 以下	93,283
kWh×0.465※(CO ₂)	28,480.32	27,910 以下	43,376.60
削減値(%、CO ₂ ,kg)	—	52.30%増 14,896.28kg 増	45.63%
ガソリン			
使用量(%)	23,360.00	22,892 以下	22,874.10
リットル×0.0671×34.6	54,233.98	53,149 以下	53,105.88
削減値(%、CO ₂ ,kg)	—	2.08%減 1,128kg 減	101.12%
軽油			
使用量(%)	79,618.75	78,026 以下	65,596.87
リットル×0.0686×37.7	205,911.60	201,793 以下	169,647.94
削減値(%、CO ₂ ,kg)	—	17.61%減 36,263kg 減	116.97%
LPG			
使用量(kg)	2,498.5	2,448 以下	2,384.3
kg×0.0598×50.2	7,500.40	7,350 以下	7,157.57
削減値(%、CO ₂ ,kg)	—	4.57%減 342kg 減	103.66%
灯油			
使用量(%)	1,334.0	1,307 以下	1,645.5
リットル×0.0679×36.7	3,324.23	3,257 以下	4,102.96
削減値(%、CO ₂ ,kg)	—	23.43%増 778kg 増	75.10%
コピー用紙購入量(kg)	397	389 以下	314
【目標：前年比 2%削減】	—	21.04%減 166kg 減	129.10%
上下水道使用量(m ³)	760	760 以下	344
【目標：前年使用量以下】	—	57.74%減 416 減	153.73%
グリーン購入(事務用品)	100%	98%以上	100%
【目標：購入比 98%以上】	—	±0	100.02%
アスファルト合材施工量(t)	11,210.6	—	9,987.4
	—	10.91%減 1,223.2t 減	—

※調整後排出係数は、2020年度北陸電力を使用しています。

部門別：環境経営目標の実績と評価

【営業部：総務部、東京支店、射水支店、品質保証部含む】

・部門別内訳表【営業部】

項目		前年度		令和3年度	
		令和2年	実績	前年比	
CO ₂ 総排出量(kg)(部門毎)		28,473	26,876	5.61%減	
購入電力	kWh × kWh	34,269	34,749	1.40%増	
	0.465※2020 CO ₂	15,935.09	16,158.29		
射水	北陸電力調整	kWh	4,188	2,745	34.46%減
	後排出係数	CO ₂	1,947.42	1,276.43	
ガソリン	リットル ×	4,250.72	4,066.71	4.33%減	
	0.0671 × CO ₂	9,868.73	9,441.52		
射水	リットル ×	310.81	0.0	100%減	
	34.6 CO ₂	721.60	0.0		
水使用量	上下水道	m ³	440	210	52.27%減
	射水	m ³	177	30	83.05%減
コピー用紙購入量(全社)		Kg	397	314	21.04%減
環境配慮型事務用品購入		%	100%	100%	100%

【環境経営活動の自己評価】

営業部としては、二酸化炭素総排出量が前年比 5.61%減の結果となりました。但し、環境負荷削減活動以外の人事異動などによる影響が大きく、部門・項目によって削減している。

電力としては、本社が 1.40%増加の結果になった。前年も約 5%増加している。昨年度より COVID-19 感染拡大防止のため、換気をしながらの空調使用による電力増加が大きい。

コピー用紙購入量は、トップ主導の書類の保存の電子化などにより、大幅削減になった。

上下水道使用量は、本社・射水支店ともに、大幅削減となった。前年度が大幅増加していたのも影響している。

部門別：環境経営目標の実績と評価

【工事部・建築部：サイト、試験センター含む】

・部門別内訳表【工事部・建築部】

項目		前年度		令和3年度	
		令和2年	実績	前年比	
CO ₂ 総排出量(kg) (部門毎)		270,978	250,515	7.55%減	
宝町車庫	kWh × kWh	1,468	1,987	35.35%増	
		CO ₂ 682.62	923.96		
試験センター	kWh × kWh	13,314	13,127	1.40%減	
		CO ₂ 6,191.01	6,104.06		
現場事務所	kWh × kWh	8,009	40,675	407.87%増	
		CO ₂ 3,724.19	18,913.88		
ガソリン	リットル ×	610.86	477.41	21.85%減	
		CO ₂ 1,418.21	1,108.38		
現場	リットル ×	18,187.61	18,329.98	0.78%増	
		CO ₂ 42,225.45	42,555.98		
灯油	リットル ×	79,618.75	65,596.87	17.61%減	
		CO ₂ 205,911.60	169,647.94		
LPG	kg ×	2,498.5	2,384.3	4.57%減	
		CO ₂ 7,500.40	7,157.57		
現場事務所	リットル ×	1,334	1,646.5	23.43%増	
		CO ₂ 3,324.23	4,102.96		
宝町	上下水道	m ³	177	104	41.24%減
		kg	398	314	21.12%減
産廃	産廃排出：AS 廃材	t	5,848	5,880	0.55%増
		産廃排出：Co 廃材	t	1,264	928
アスファルト舗装施工量		t	11,211	9,987	10.91%減

【環境経営活動の自己評価】

部門別 CO₂ 排出量は、前年度より 7.55%削減できた。しかし、項目別にみると現場事務所の電気使用量と灯油使用量の大幅増加があるが、ガソリン・軽油の大幅削減などの総合的での削減である。

工事現場事務所の電力については、その年ごとに件数や電力メーターの有無による把握状況が変わり、定量的な評価ができません。

建設業にとって産業廃棄物の適正処理は当然だが、今後も法を順守し、リサイクルし易いように分別を徹底し、リサイクル率の向上に努めたい。

環境経営計画の取組結果とその評価、 次年度の取組内容

環境経営計画の取組結果

・CO₂排出量削減

- ・CO₂総排出量 目標値 前年比2%削減
実績 前年比 7.37%削減→目標達成

・廃棄物削減

- ・コピー用紙購入量 目標値 前年比2%削減
実績 前年比 21.04%削減→達成
- ・産廃排出量削減 目標値：再資源化率99%以上
実績：再資源化率 99.89%→達成

・水使用量削減

- ・総排水量（上下水道） 目標値 前年の使用量以下
実績 前年比 54.74%削減→達成

令和3年度は中期目標・第5期の3年目となります。

CO₂総排出量は、前年比で7.37%削減で、目標達成であった。

項目別に見ると電力・灯油は大幅増加だが、ガソリン、軽油・LPGの削減による、トータルでの削減であった。

結果として削減できているが、数値にバラツキがあり、一定の傾向がみられない。建設業は全くとして同じ仕事はなく、外注による影響も大きく、定量的な指標は難しい。

コピー用紙購入量21.04%削減となった。総排水量は54.74%削減となった。今後も書類の電子化を推進し、コピー用紙使用量削減、及び水使用量削減に努めたい。

工事現場においては、仕事の種類・量・時期等に大きく環境負荷が左右されるが、従来通りエコドライブ等、ムリ・ムダの排除などを行い、環境負荷軽減活動を取り組んでいきたい。

・化学物質使用量の削減

当社は化学物質の取扱いはありません。

・グリーン購入

- ・グリーン購入(事務用品)
目標値 環境配慮製品購入比98%以上
実績 環境配慮製品購入比 100%

今後も環境配慮物品購入を優先します。

・当社が施工する工事に関する環境配慮

従来から行っている、再生アスファルト混合物や再生砕石等の使用。

仮設資材もリサイクル製品や再使用できるものは優先的に再使用しました。加えて、使用する資材等が過剰にならないように施工精度を上げるよう、努めています。

現場周辺環境の配慮として、建設重機を排ガス・騒音・振動対策型を使用しています。

・環境関連法規の遵守

環境関連法規を遵守し、必要な産廃契約・マニフェストの交付、必要な届出等を実施しました。

工事現場においては、排ガス・騒音・振動対策型建設機械等の使用を確認しました。

・地域の環境貢献活動への参加

令和3年7月に伏木港周辺での環境奉仕活動に参加しました。秋には高岡古城公園の環境美化活動へも参加しました。

次年度の取組内容

次年度・令和4年度から中期目標3年間の環境経営目標は、次表の通りとする。

当社が施工する工事に関する環境配慮は、引き続き同じ目標とするが、業界の動向に注視し、新たなる技術・工法があれば、積極的に取り入れたい。

項目	令和3年度	中長期目標（3年間）			
		令和4年	令和5年	令和6年	
CO ₂ 総排出量削減(kg)※	277,391	前年度 -1%			
廃棄物排出削減	コピー用紙(kg)	314	前年度 -2%		
	産業廃棄物削減	99.89%	分別、再資源化を推進し、再資源化率99%以上		
水使用量削減(上下水道m ³)	344	前年使用量以下			
化学物質の削減	—	当社は使用しないので対象外			
グリーン購入(事務用品)	—	— (事務用品のグリーン購入は推進するが目標としては除外する)			
工事の環境配慮		再生資材の使用の促進 顧客に環境配慮製品の情報提供 環境配慮建設資材の促進			

※電力 CO₂ 計算に用いた調整後排出係数(0.465)は北陸電力(株)2019年度速報値。

CO₂排出係数は、新しい係数で算出し直しています。

・環境関連法規の遵守

法規の改正情報の入手に注意し、法規の遵守。

・地域の環境貢献活動への参加

従来通り、積極的に参加する。

環境関連法規等の遵守状況の確認 及び評価の結果

環境関連法規等の遵守状況については、マニフェスト管理・届出状況等確認した結果、違反は認められませんでした。

その他の環境関連法規の遵守状況は、確認した結果、違反は認められませんでした。

PCB 関連について、当社で保管している PCB 含有機器は、令和3年度において JESCO にて処理が完了しました。

建設業として重要な廃棄物処理法等の確認として、産業廃棄物（がれき類、等）の処理については、処理施設への100%搬入されていることを、産廃契約書・マニフェスト・設計書との搬入数量の差異、建設工事現場では社内検査及び発注者検査等によって、適正処理していることを確認しました。

違反及び訴訟の有無

関係機関からの違反等の指摘はなく、利害関係者からの訴訟等についてもありません。

代表者による全体評価と 見直しの結果

		日付	令和4年 4月 15日	
確認・評価項目	確認	確認・評価項目	確認	
環境経営目標達成状況	✓	環境法規等の遵守状況	✓	
環境経営計画の実施	✓	外部からの環境に関する	✓	
環境経営活動運用結果	✓	苦情、要望		
環境への取組について、代表者の評価				
環境経営システムが有効に機能しているか		適	不適	
環境への取組は適切に実施されているか		適	不適	
見直しの必要性				
環境経営方針、又は、環境経営目標		あり	なし	
環境経営活動計画		あり	なし	
環境経営システム全般		あり	なし	
実施体制		あり	なし	
その他()		あり	なし	
見直しの具体的内容及び指示事項				
〔環境経営方針・環境経営目標〕				
今年度の環境経営活動の結果、二酸化炭素総排出量は7.37%削減し、目標を達成した。				
項目別には電力・灯油が大幅増加、ガソリン、軽油、LPGの削減による、全体的での削減であった。				
コピー用紙購入量及び総排水量は削減目標を達成できた。				
二酸化炭素総排出量について、上辺だけ見ると良好に見えるが、仕事の種類・量・時期的なもの・外注など、様々な影響があるため、定量的な評価が困難である。売上げが上がっているのに二酸化炭素排出量は減っているのは、環境活動による影響もあるかもしれないが、単に外注したことによる自社分の二酸化炭素排出量が減ったとも言えなくもない。				
ただ言えることは、数値に一喜一憂せず自分たちにできる環境活動を行っていくことは間違いではない。				
来季は中期目標の新しい年度となります。引き続き、二酸化炭素排出量削減、廃棄物排出削減、水使用量削減、環境関連法規の遵守など、環境活動を行っていきたい。				
また、現場管理業務や事務作業においては、ペーパーレス化やRPAの導入などにより、決まった手順の定型業務や繰り返し行う作業の効率化を図ります。				
今後も事業活動と両立するように、資源の無駄遣い防止に努め、環境関連法規を順守し、環境に配慮いたします。				